

延岡市自殺対策行動計画（第3期）（案）に関するパブリックコメント／意見の概要と本市の考え方

○意見募集期間：令和6年11月25日（月曜日）～令和6年12月16日（月曜日）

○ 結 果 ：提出者 4 名 、 意見 3 件

No	分類	ご意見	本市の考え方
1	感想・その他	延岡市自殺対策行動計画（第3期）（案）を読ませていただきました。自殺を早期発見し止める事は実に難しいとは思いますが、特に若い世代などは初めての子育てで不安からうつ病になりやすいと聞かれます。対策として産婦人科の協力を得て、育児での不安を和らげる為、両親でこれから始まる子育てでの豊かな経験者として50代、40代の親達の講話をして頂き、自宅に帰って懸命のあまり又、不安になった時はいつでも相談できる安心な場所を市内の公民館等で週1回～2回実施する等はどうでしょうか。	本市では、出産後の心身の不調や育児不安、産後うつの予防等のため、産婦健康診査（産後2週間、産後1か月）や産後ケア事業を行い、産婦人科等と連携を取りながら産婦への支援を行っています。また、妊産婦健康相談や乳幼児健診等を実施し、育児等に関する相談の機会を設けています。令和5年度には、こども家庭サポートセンターを設置し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門家が対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして、妊産婦・乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供しています。 また、令和元年10月からは、365日・年中無休の「なんでも総合相談センター」を設置し、専門的な資格を持つスタッフにより、「医療・福祉・介護」と「子育て・教育」の2つの分野を中心とした各種相談にワンストップで対応し、相談者に寄り添った支援を行っています。 今後も引き続き、悩みや不安を抱える人が一人で抱え込まずに誰かに相談できるよう、相談窓口の周知啓発に努めます。
2	感想・その他	今回、延岡市でどれくらいの方が自殺しているとか、自殺の年齢や理由など解りやすくまとめられていてとても良かったです。 普段そういうことを公表していないだけに、身近で悩みをかかえている人たちがいることに考えさせられました。今は、不登校なども増えていて、小さいうちから学校などでも、家庭や学校の悩みなど気軽に話せる環境づくりを市でも行っていただきたいと思います。	悩みや不安を抱えている人が誰かに相談することができるよう、今後も引き続き、さまざまな機会を通じてこころの健康に関する正しい知識や相談窓口の周知啓発に努めます。 また、児童生徒が命の大切さや尊さを実感するとともに、様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけ、かつ信頼できる大人に助けを求めて良いということを学べるよう、関係課及び関係機関と連携しながら推進していきます。
3	感想・その他	心身共に健全な者は自死は身近ではなく、容易に気付けないと思うので、あらゆる機会を利用し若年の時から人を頼ることは恥ずかしいことではないなど、啓発をすることが重要だと思います。	